

# 第61回全国植樹祭 かながわ2010

〜森が育む あなたの心 森を育む あなたの手〜

「全国植樹祭」は、国土緑化運動の中心となる重要な行事です。

天皇皇后両陛下の御臨席の下、全国各地からの参加を得て、両陛下のお手植えや参加者による記念植樹等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に昭和25年から毎年開催されています。

今年5月23日、神奈川県南足柄市足柄森林公園丸太の森地区と秦野市秦野戸川公園地区の2会場で行われました。

## 47都道府県での開催を達成

神奈川県初の開催となる「全国植樹祭」は、『森が育む あなたの心 森を育む あなたの手』をテーマに、南足柄市足柄森林公園丸太の森地区、秦野市秦野戸川公園地区の2会場で開催されました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、2会場で行われたお手植え行事と式典行事に8275人が参加。また、この日に行われた海老名市と開成町のサテライトイベントにも、あわせて約1万6500人が参加して、森林の再生に願いを込めました。



天皇陛下のお手植え(南足柄会場)



天皇皇后両陛下(秦野会場)

神奈川県では天皇皇后両陛下御臨席の下、昭和24年に全国植樹祭の原形とされる「愛林口植樹行事」が箱根・仙石原で行われましたが、全国植樹祭については大規模な植樹ができる適地の確保が難しかったのですが、今回、会場を2つに分けた形で神奈川県で初の開催となりました。これにより、全国植樹祭は47都道府県すべてで行われたこととなります。

式典で主催者の松沢成文知事が「神奈川県は自然環境に恵まれ、県土の4割が森林。森の大切さを次世代に引き継ぐため『かながわ森林再生50年構想』を進めています。この大会を契機に、継



皇后陛下のお手播き(秦野会場)



秦野会場のプロローグアトラクション

承の輪が全国に広がってほしいと願っています」と、全国植樹祭の開催を契機とした森林づくりの拡大と継承を訴えました。

## かけがえのない 森林を次代へ

南足柄会場では、天皇皇后両陛下によるお手植えが、神奈川の自然を紹介する映像と弦楽四重奏によるプロローグアトラクション、感謝状贈呈に続いて行われました。

天皇陛下がケヤキ、無花粉スギ、クヌギの苗を「森」の字に見立ててお手植えされました。皇后陛下もヤマザク

ラ、イロハモミジ、シラカシを同じようにお手植えされるなか、御手で丹念に土を固められる姿が、多くの参加者に感銘を与えました。

式典会場となった秦野会場では、ホルンと和太鼓のアトラクションをプロローグに式典が始まり、主催者挨拶や国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール、緑化功労者、全日本学校関係緑化コンクール、かながわ未来につなぐ森づくり賞の表彰に続いて、両陛下によるお手播きが行われました。

天皇陛下がブナとスダジイの種、皇后陛下がコブシとヤブツバキの種をお手播きされると、これからの時代を担う子どもたちが森林への思いを乗せ、雨に負けない元気なダンスを披露。2会場あわせて約5000本の一般植樹や、50年後へのメッセージを込めたタイムカプセルの埋設など、かけがえのない森林を次代に引き継ぐという意思を込めた数々のアトラクションが行われました。



元気いっぱいのダンスを披露した「かながわダンスキッズ」

